

平成27年度 介護老人福祉施設 事業計画

I 現状と取り巻く状況

入所者の重度化が進み、医療依存度の高い方が増えており、日常の健康管理と早期発見が大切となっている。そのため、専門職による多職種協働によるサービス提供が重要である。

看取り、認知症への対応や介護士の医療行為、口腔ケアなど職員の能力向上に取り組むことが必要となっている。入所者、ご家族に最後まで安心して幸せに暮らせるサービスを提供できる場としての役割が重要となっている。

平成27年度より入所の基準が改定され要介護3以上となった。このことからさらに重度化は進むものと思われる。

II 基本方針

1. 尊厳を守り、楽しみのある生活を提供する
2. 安全かつ安心で快適な生活を提供する
3. 各職種の連携と協働を強化し、チームワークのよい職場づくりを目指す

III サービス目標

1. 安全な生活を提供する
 - ・事故ゼロを目指す
 - ・福祉用具を活用した移乗介助の徹底
2. 楽しみのある生活を提供する
 - ・余暇活動の充実
 - ・行事の充実を図り楽しみのある生活を送る
 - ・安心して食べられる食事の提供

IV 能力開発目標

1. 人材育成と強化
 - ・認知症実践者研修へ2名参加
 - ・認知症リーダー研修へ2名参加
 - ・吸引、栄養医行為研修へ2名参加
 - ・医療面での知識を深め、観察力を高めるための研修を実施

V 地域目標

1. 地域、家族との交流と広報活動
 - ・苑内行事への家族の参加を依頼し、利用者とともに楽しむ時間を設ける
 - ・故郷訪問の継続
 - ・介護教室の実施
 - ・保育園、小中学生との交流会の実施

VI 業務目標

1. 業務改善への取り組み
 - ・業務の見直し
 - ・働きやすい職場環境の整備
2. 安定的経営
 - ・空きベッド数をおさえる（平均 3人/日）
 - ・入退所の効率化を図る